

ルーヴルの怪人 (2001)

BELPHEGOR - LE FANTOME DU LOUVRE

メディア 映画
ジャンル ホラー ミステリー サスペンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2002/06/15
公開情報 日活＝テレビ東京提供／日活

【キャッチコピー】
フランス全土に広がる闇の伝説。
一生解かれることのない呪縛…。
誰も語りたがらない、ルーヴル美術館史上最悪のタブー。

【解説】
800年の歴史を誇り、世界でも屈指の美術館として知られるルーヴル美術館。フランスを代表するこの建物にも、古い建物にはつきものとでもいうように、いつしか市民の間にルーヴルを舞台にした怪奇伝説が生まれていった。そんな、フランス人なら誰もが知るルーヴル怪奇伝説を現代風にアレンジしたホラー・ミステリー。
1935年、考古学者デフォンテーヌ教授率いる遺跡調査団が3,000年前のミイラを発掘、石棺に収められたミイラをルーヴル美術館に向けて船で搬送することとなった。が、間もなく乗組員に自殺が続出、教授も謎の死を遂げ、その記録はルーヴルの収蔵室奥深く人目につくことなく葬られることとなった。それからおよそ60年。大規模な拡張工事を始めたルーヴル美術館の地下収蔵室から謎の石棺がデフォンテーヌ教授の日誌と共に発見される。すぐさま、イギリスからミイラ学の権威がやって来て調査を開始するが、この時から奇怪な現象が美術館全体を襲うのだった……。

【クレジット】			
監督	ジャン＝ポール・サロメ	Jean-Paul Salome	
製作	アラン・サルド	Alain Sarde	
製作総指揮	クリスティーヌ・ゴズラン	Christine Gozlan	
原作	アルチュール・ベネド		
脚本	ジェローム・トネール	Jerome Tonnerre	
	ダニエル・トンプソン	Daniele Thompson	
	ジャン＝ポール・サロメ	Jean-Paul Salome	
撮影	ジャン＝フランソワ・ロバン	Jean-Francois Robin	
音楽	ブリュノ・クーレ	Bruno Coulais	
出演	ソフィー・マルソー	Sophie Marceau	リザ
	ミシェル・セロー	Michel Serrault	刑事ヴェルラック
	フレデリック・ディファンタール	Frederic Diefenthal	マルタン
	ジュリー・クリスティ	Julie Christie	グレンダ・スペンサー博士
	ジャン＝フランソワ・バルメ	Jean-Francois Balmer	